



令和6年12月24日
小田原市立東富水幼稚園
文責 宮川 晃

9月3日（火）、年少児（ひよこ組）は12名、年長児（すみれ組）13名（夏季休業中に1名転出、1名転入）の計25名の幼児と11名の教職員による東富水幼稚園の2学期がスタートしました。（9月2日（月）は台風のため休園）

今学期も引き続き、教育目標や重点課題達成に向け、教職員一同、力を合わせて取り組みました。

令和6年度の教育目標

『認め合い育ち合う子どもの育成』

- ★自ら関わることを楽しめる子
- ★粘り強く頑張れる子
- ★自分も友達も大切にできる子

研究主題 『幼児の主体性を育むための教師の資質向上』
サブテーマ ～ 幼児が主役の保育について考える ～



重点課題と指導の方針①

『子どもの発達や特性に応じた教育活動』

- 人・もの・ことなど、身の回りの環境に積極的に関わり経験を重ねる活動内容の実践
- 興味関心をもち、試行錯誤しながら学びに向かう芽を培う環境の工夫
- 遊びを通じた、体力・運動能力の向上
- 様々な環境に触れ、五感を通して心の豊かさを育む環境の工夫
- 地球環境や自然環境を活かし、取り入れた遊びの展開
- 栽培、飼育活動を通じた命の学び
- 基本的生活習慣、衛生習慣の確立
- 安全教育の推進（防災・防犯・交通安全・感染予防等）



今学期もあいさつや着替え、お弁当のたくや後片付け、歯磨きなど、自分のことは自分でできるように、毎日の積み重ねを大切にしながら過ごしました。

また、6月に続き、10月～11月にかけて「あいさつ運動」を実施しました。今回はひよこ組（年少）の子どもたちも加わり、すみれ組（年長）が手本となってより元気なあいさつ運動となりました。今後も「関わる力」を高めるために、あいさつをしっかりとできるようにしたいですね。



幼児期は、遊びを中心にして主体的に人やものなどに関わりながら、総合的にいろいろなことを学ぶ時期です。今学期のひよこ組では、プリンセスやネコちゃんになったり、警察官やロボットに変身したりして、ごっこ遊びを楽しんでいました。すみれ組では、アイス屋さんや警察ごっこから始まりました。また、おばけ屋敷では「みんなをびっくりさせたい」という思いを強く持って活動していました。そして、子どもたちが考えた遊びが、スポーツフェスティバルや生活発表会の種目や内容へとつながっていきました。



10月のスポーツフェスティバルは、日頃から子どもたちが楽しんでいることや興味をもっているテーマを運動遊びに取り入れ、体を動かす楽しさや友だちと力を合わせる喜びを味わうことができるように工夫しました。また、11月・12月の生活発表会は、子どもたちがどんな遊びに夢中になって取り組んできたかをストーリー仕立てのお話の中に取り入れて発表しました。どちらもたくさんの保護者の方々にご参観いただき、子どもたちはとても張り切って取り組むことができました。



10月2日に稲刈りを行いました。いつもお世話になっている細谷さんにお手伝いいただきながら、子どもたちは一株ずつ丁寧に刈り取りました。刈り取った稲は束ねて縛り、竹で組んだ干し場にかけてました。その後、脱穀は農家の方をお願いしたところ、3.5キログラムの玄米になって戻ってきました。みんなでおいしいおにぎりを作って食べたいと思います。楽しみです。



小学生や中学生との交流も盛んに行われました。11月の生活発表会（すみれ組）の前には、東富水小学校の5年生70名ほどが駆けつけてくれ、練習の様子を参観し、応援してくれました。また、泉中学校の3年生と東富水小学校の2年生が、ひよこ組とすみれ組全員をそれぞれの学校に招待し、手作りの車に乗せてくれたり、魚釣りゲームを楽しませてくれたりと、様々な遊びコーナーを作ってくれました。12月には、東富水小学校の5年生がすみれ組の子どもたちを小学校へ招待し、学校探検を一緒に行ったり、国語や算数等の授業の様子を見せてくれたり、一緒に遊んでくれたりしました。子どもたちは充実した時間を過ごし、とても貴重な経験となりました。



子どもたちの安全をより確かなものにするため、防災・防犯・交通安全・感染予防等についての安全教育を毎月行っています。9月には東富水小学校と合同の洪水に対する避難訓練、10月には地震に対する引き取り訓練、11月には火災に対する避難訓練と不審者侵入に対する防犯訓練、12月には地震に対する避難訓練を実施しました。また、9月には小田原市役所のくらし安全課より4名の職員の方々にお越しいただき、保護者も対象とした内容の交通教室を実施しました。

重点課題と指導の方針②

『保護者・地域との連携』

- 幼児の成長をもとに喜び協力し合える信頼関係の構築
- 幼児理解・幼稚園理解と家庭教育の推進
 - ・情報発信、教育相談の充実
 - ・家庭とつながる活動の展開
 - ・楽しみながら参加できるPTA活動の工夫
- 幼児の学びをつなげる小学校との連携
- 保護者支援・子育て支援の充実
- 地域環境・専門機関との連携や活用
- スクールボランティアの活用



今学期も、図書の読み聞かせや清掃活動など、様々な係活動やボランティア活動を行っていただき、子どもたちを楽しませてくださったり、気持ちよく生活できるよう環境を整えてくださったりしました。また、PTA 役員会や学級懇談会等の会合にも積極的にご参加いただき、子どもたちの生活について情報共有を深め、同じ方向で支援や指導できるように話し合うことができました。

11 月からは小田原市の事業として行われているアクティブシニアのボランティアの方にも来園していただき、子どもたちの元気な声を聞きながら、花の世話や草取り等をしていただいています。

重点課題と指導の方針③

『教職員の資質・能力の向上』

- 一人一人の発達や特性を捉えたきめ細やかな援助
 - ・教育課程、指導計画、アプローチカリキュラム、支援計画等、実態に応じた見直しと立案
- 幼児の思いに寄り添うインクルーシブ教育の推進
- ICT の活用や事務分掌の精査による効率的な仕事の推進
- チーム保育の実践
- 園内研究並びに自己課題に対する研究の推進、自己研鑽による保育スキルの向上



11 月、講師として小田原市教育委員会教育指導課の指導主事をお招きし、教職員の資質・能力の向上をめざして今年度 2 回目の園内保育研究会を開きました。子どもたちの様子と教師の支援の仕方を参観していただき、午後の研究協議の時間にご指導いただきました。3 学期も「幼児が主役の保育」を職員一同で目指していきます。

安全で楽しい冬休みにするために・・

- 1 身に付けた生活習慣を大切にして、冬休みを過ごしましょう。
- 2 家族の一員として手伝いをしましょう。
- 3 知らない人にはついていかないようにしましょう。
- 4 交通ルールを守りましょう。
- 5 日本の伝統に触れる機会をもちましょう。
- 6 手洗い、うがいをして感染症予防をしましょう。

